



UMEX 夢っくす ニュース

かわらばん 3月号

今後の予定

●金曜昼サロンギャザリング

豪雪の為お休みしていましたギャザリングを下記の通り行いたいと思います。今年初めてのギャザリングとなりますので、今年のスロンの計画等についてもお話できればと思っています。より多くの会員の皆様に参加して頂けることを期待しております。

一人一品以上の持ち寄りパーティーとなります。果物、飲み物なんでも結構です。ただ宗教上の理由で豚を使った料理はなるべくでしたらご遠慮下さい。

開催日：3月17日（金）
時間：12:00～15:00
場所：夢っくすサロン
問合せ：高橋和子 025-773-3123

●第2回お茶会（篠田邸）

前回好評だったお茶会を下記の通り行いますが、当日通訳、若しくは送迎のお手伝いをしてくださる方を募集しております。できる方がいらっしゃいましたら高橋までご連絡下さい。

開催日：3月24日（金）
集合：午後6時 国際大学正面玄関
場所：篠田ヒサ様ご自宅
参加費：300円
問合せ：高橋和子 025-773-3123

●母国紹介（インドネシア）

3月の母国紹介はインドネシアを取り上げます。講師はアティラさんです。出来るだけ多くの会員の皆様のご参加をお待ち致しております。

開催日：3月31日（金）
時間：19:30～20:30
場所：夢っくすサロン
問合せ：事務局 office@iuj.ac.jp

TUSO（津波被災地と魚沼をつなぐ会）活動報告 ～留学生がつなぐ善意のリレー、確かに被災各国へ～

夢っくすでは、2005年2月にTUSO（津波被災地と魚沼をつなぐ会）を結成し、スマトラ沖大地震の被災者救援活動に取り組んで来ました。国際大学の学生と協力して2回のチャリティー・コンサートを成功させ、6月末までに1,374,218円の義援金を集めることが出来ました。その中から南魚沼市に中越地震災害見舞金として20万円を寄付し、残りの1,174,218円を、タイ、インドネシア、インド、スリランカでの救援活動費として4カ国の留学生グループに交付しました。また、学生たちとは、義援金は「子供たちの教育のために使う」という原則の確認にとどめ、具体的な使途は、各国の実情を最も良く



インドでのデザイさん（中央）の活動

理解している学生たちに一任しました。

タイ・グループは津波で両親または片親を亡くし、学校へ通うことが困難になったブーケットの11名の子供たちに奨学金を贈り、インドネシア・グループは被災したアチェの子供たち119人に制服と靴を、そして、現地で復興活動を行っているNGOチャイルド・センターにコンピューター3台を寄贈しました。チャイルド・センターでは、そのコンピューターを使って子供たちの経済的自立を支援するコンピューター講座を開講しています。インターネットへの接続は国連がサポートしてくれたとのこと。インド・グループはアンドラプラデシュ州の片田舎にある村の子供たち200名に学用品を届けました。スリランカ・グループは幼稚園の子供たちに制服やおもちゃを届けました。



インドネシアでのヘルさん（左）の活動

TUSOでは、義援金を留学生が直接現地に持参することで送金手数料などを節約し、また、寄贈する品物を現地で調達することによって、些少ですが被災地の経済活動にも貢献しています。各国グループ代表たちは、それぞれ自費で被災地へ赴き、被災地の人々に夢っくす、そしてTUSOの活動を直接伝えてくれました。各国グループの詳細な報告は、夢っくすホームページ「国際交流」<http://www.umex.ne.jp/mex.cfm> を、TUSOの設立経緯は「かわらばん・特別号」（2005年4月23日発行）http://www.umex.ne.jp/pdf/tuso_news1.pdf をご覧下さい。私たちの小さな善意が留学生たちの手でリレーされ、しっかりと4カ国の子供たちに届けられたように思います。皆様のこれまでのご理解とご協力に心からお礼申し上げます。



スリランカの幼稚園児たち

TUSO代表・久保田豊昌

タイ・グループ代表のオラヌートさん（右の写真で奨学金を手渡している女性）からの夢っくす宛メッセージです。和訳はホームページをご覧ください。

Dear all UMEX members,

Following the devastated hit by Tsunami in Asian region, relieving fund was immediately raised by UMEX in cooperation with other local organizations. I, as a representative of Thai students at IUJ and on behalf of UMEX members, brought that fund back to Thailand and rushed to the affected areas in the Southern part in October 2005.

Initially, I would like to give this fund to primary school students in Baannumkem, Phang-nga, the worst affected area. However, I could not manage to reach my friend, the only person who can locate affected students in Baannumkem. In this, I needed to contact Office for Phuket Education, asking for the officers' help to find orphan students in Phuket.

I maximized the usage of UMEX fund by granting it as scholarships. Scholarships were given to students who were living in poor condition, lost his/her parents in the event, and didn't get access to private or governmental assistance. Any student who falls under this criterion would be considered to receive UMEX fund. However, due to limitation of money amount, only 6 students were selected.

With the effective system we employ, we need not to worry about misuse of the scholarships by those students because they are controlled strictly by their supervising teachers. Every time the students need to withdraw the fund in their own bank account, they must inform their supervising teachers for how they are going to use it. Most of the fund is normally used for tuition fee, books, stationary and the education related matters.

As far as I have talked to those students, I have come to realize that they desire long relationship rather than a one-time assistance. Given all the natural devastations taking place around the world, Tsunami victims will be soon forgotten along with all supports, which will evaporate quickly. This is what those students and I have severely concerned about. The only way to prevent this problem we are anticipating is to build up and tie relationship between supporters and those victims.

On behalf of those Thai students, I again would like to convey my great gratitude to all UMEX members, Japanese donors and all the relevant persons.

Oranoot Withitwinyuchon
(IR Class of 2005)

TUSO活動報告（続き）

タイで奨学金を贈られた子供たちからのメッセージです。

① 私は、チャルムリット・ペットローリアンです。小学校5年生2組の生徒です。最後の試験の日に、奨学金のいただき、心強く生きられるようになりました。お父さんが亡くなったけれども、頑張って勉強をします。頂いた奨学金は、勉強の用具を買ったりして、勉強に使います。タイの神様達*が、世界中の神様達や奨学金をくださった方々に幸福や健康をもたらしすように。

*ブーケットやエメラルド寺院の昔の高僧達

② 私は、ラチャボン・チャナチットです。ブーケット女子校3年生です。今回の津波の影響で、私の父が12月26日に亡くなりました。私の父は、カオラックにあるホテルにいました。私の家はラチャダー海岸にあり、逃げてきました。私の家は津波でなくなったので、暫く東屋で暮らしていました。そして、今は、祖父、祖母、母の三人と暮らしています。奨学金のおかげで勉強を続けていくことが出来ます。ありがとうございます。卒業したら、何かお返しをしたいと思います。

③ 私は、ピヤネート・アルンナプリーです。ブーケット女子校3年生です。今回の津波で、母を亡くしました。母の所得は月35,000バーツで、カオラックのヘーモラウ・リゾート・アンド・スパで、会計をやっていました。父は、ガイドをやっていました。昔は、月給30,000バーツだったのですが、今は、お客さんがこないで、20,000バーツに給料が下がりました。父が水道光熱費や、母の親族の世話をしなければなりません。奨学金をもらったので、もっともっと勉強をして、父を手伝いたいと思っています。最後に、ありがとうございます。これからも頑張って勉強することをお約束します。

④ 私は、カッタリヤー・ラマイです。ブーケット女子校3年生です。私の父は、トゥクトゥクの運転手で、パトン・ビーチで仕事をしていたら、津波でホテルの地下に流されて亡くなりました。今は、母と暮らしています。母は、左の眼が見えません、また心臓肥大と高血圧で仕事ができません。今は姉がパトン・ビーチのお店を再建して、私たちを養ってくれていますが、お客が少なく、収入が減っています。姉が家族のリーダーになっています。二人の兄は、それぞれ、ラムカムヘーン大学（通信制大学）とラチャパート・スワンドゥーシット大学（教員養成大学）の2年生です。頂いたお金は、全部勉強のために使いたいと思います。もし可能ならば、私の大学卒業まで奨学金がもらえたらうれしいです。本当にありがとうございます。

⑤ 私は、ウボンラット・シリラットと申します。ウィライワン・ブラティーナタランの伯母でございます。姪は、タイラット・ウィッターヤ学校幼稚園2年に在学しております。ウィライワンは、三番目の子供で、三人とも学校に通っておりますが、私が皆の面倒を見ております。現在は、私の息子たちが二人大学に通っており、私の収入ではまかない切れません。もし、可能であれば、あなた方ができ得る限り、あの子を支援して下さいますようお願いいたします。

⑥ 僕は、カッチャー・ルーンサムットといひます。ブーケット・タイファアの14歳の中学校3年生です。今回の津波で、あなた方と、UMEXから奨学金をもらいました。できれば、もっと高等教育の勉強をしたいと思っていますので、ご支援をお願いします。今回頂いたお金は大切に使って、頑張って大学の卒業まで勉強したいと思っています。

<翻訳：東京在住の元留学生・斎藤ルタイティップさん>



国際雪合戦大会



学生さんたちとハイポーズ！
左からヨハンさん（ノルウェー）
ベンジャミンさん（フランス）
マイキーさん（アメリカ）
渡辺さん（日本）
マルセロさん（ペルー）

2月12日（日）に魚沼市で催された国際雪合戦退会に、国際大学の学生さん4名と共に参加して来ました。参加して頂いた学生さんは、フランスのベンジャミンさん、アメリカはフロリダ出身のマイキーさん、ノルウェーのヨハンさん、そしてペルーのマルセロさん。第一回戦は長岡の大学の、これまた留学生のチームとの対戦。1回戦は惨敗しました。2回戦は地元のチームとの対戦。一回戦敗北の悔しさに発奮した学生さんたちの頑張りにより、こちらの試合は快勝！初の勝利を学生さん達



熱戦を繰り広げる学生さんたち

と喜びあった瞬間は忘れられません。昼食の後、午後からのトーナメントに審査委員長特別推薦枠で参加させて頂いたものの、不運にもこの日の優勝チームとの対戦になり、あえなく敗退。雪合戦の他にも、スノー・モービルの試乗や屋台での食事なども学生さんに楽しんでもらえたようです。雪が降ったりやんだりの天候の中、学生さん達と心をひとつにして共に楽しむ時間が与えられたことを感謝しています。

渡辺 正志

十日町雪まつり

森山 俊行



2月18日（土）に学生さんとそのご家族を連れて十日町雪まつりに行って来ました。開催期間中は臨時列車が出たので、浦佐から皆で電車に乗って出掛けました。十日町駅では会員で十日町市に住んでいる高橋真奈美さんが待っていてくれて、高橋さんの案内で先ずは十日町高校に開設されたコミュニティひろばに向かいました。会場では各々の屋台で腹ごしらえをしました。写真はその時に撮ったものです。屋台ではたい焼きが人気でした（さて、写真の中で何人かがたい焼きを持っているでしょう？）。そう言っている写真を撮っている私も食べました。

次はいよいよ雪上カーニバルの会場に向かいました。会場が少し離れている山の上だったので、体育館で一服してから向かいました。会場には大勢の人で混雑していて、私達はチケットを買っていなかったのが無料の立ち見エリアで見ました。オープニングのダンスから始まり、次にあやや（松浦 亜弥）が出て来てヒット曲の「気がつけば あなた」を歌いました。前の特別席からは歓声が聞こえて来ましたが、寒かったせいか、遠くでよく見えなかったせいか、立ち見エリアの人達は静かなままだったので、学生さんは自分の周りの静かさを不思議がっていました。親子で来ていた学生さんはお父さんが寒がって早々に下山し、そのうちに他の学生さんも寒がり出したので早めに下山しました。フィナーレの花火は帰る道すがら見ることとなりました。

雪まつりはやっぱり寒いですが、参加された皆さんはそれなりに楽しんでたのではないかと思います。

ひな祭りパーティー 遠山 美恵子

Welcome to Hina-matsuri party !



2月26日（日）に我が家で初めてのホームパーティを開きました。今回は、国際大学の学生さんたちがたくさん来て下さるということで、家族皆で楽しみにしておりました。

皆さんと一緒に我が家のお雛様を飾ったり、おにぎりをつくったり、お茶を立てて飲んだり・・・と、とても楽しいひとときでした。私も『日本の家庭

料理を・・・』と思い、何かを作って皆さんをお迎えしたのですが、学生さん達からも、お国のお料理やお菓子、お茶を持って来て頂き、テーブルの上はバラエティに富んでいました。日本の文化を伝える・・・というところまでは出来ませんが、外国の方に、日本に『触れる』機会のお手伝いが出来たならば、私も嬉しく思います。私自身、パーティの準備をしている時から楽しんでおりましたし、何より、夢っくすを通じて外国の方と接する機会が身近にあるということは、とても貴重なものだと感じています。

我が家にお集まり頂いた皆様、有り難う御座いました。また、是非、遊びにいらして下さい。



裸押し合い祭り

3月3日（金）に行われた裸押し合い祭りを見学したベトナムからの留学生であるフンさんから感想を寄せて頂きました。

I want to thank Banzai san for inviting me to her house. I had a wonderful time with Banzai san and her friends. We ate a very nice diner at her home. I think Banzai san and her mom are very good cook. It has been a long time for me to have a nice Japanese food like that. We ate, drank, and talked till around 9:00p.m then we went to naked man festival.

It was very cold outside at that time, however, I saw a very spiritual atmosphere from festival participator. Even though, the temperature seemed like below zero degree, naked man were shouting and running around the place. To me, they were very exciting and a little bit crazy. I really enjoyed the festival. We stayed there until the festival was almost over. We took many pictures and went back home around 10:30 p.m. I really want to thank again to UMEX and Banzai san to give me the best chance to enjoy the Naked Man festival. Hung Nguyen



裸押し合い祭りに参加した学生さん
（右から二人目がフンさんです）



左の写真は、祭りの前に行われた坂西由紀子さんの家でのパーティーです。

日	月	火	水	木	金	土
3/12	13 言葉文化講座	14 夢っくすサロン	15	16	17 昼サロンギャザリング 夢っくすサロン	18
19	20	21 夢っくすサロン	22	23	24 お茶会 夢っくすサロン	25
26	27	28 夢っくすサロン	29	30	31 インドネシア母国紹介	4/1
2	3	4 夢っくすサロン	5	6	7 夢っくすサロン	8
9	10 中国語会話教室（夜）	11 夢っくすサロン	12 英会話教室（夜）	13 英会話教室（昼・夜）	14 夢っくすサロン	15

★★会員紹介コーナー★★

会員No. 290 米山浩一さん

- ①アメリカ（ニューヨーク）
- ②英語
- ③テニス、スキー
- ④ 国際文化に触れること
- ⑤日本語チューター
- ⑥違う文化を持つ国の方と交流するのは楽しいですね。身近に世界を感じます。

- ①一番行きたい国②興味のある言語③趣味や特技
- ④夢っくすでやってみたいことは⑤今やっている国際交流⑥一言どうぞ！



日本語チューターにて
ジョウピンさん（左）・ジャリさん
（中央）・米山浩一さん（右）

新会員のご紹介

No.296 南雲達也さん（南魚沼市）
No.297 遠山美恵子さん（南魚沼市）

★よろしくお願ひします★

ホームページもご覧ください
<http://www.umex.ne.jp/>

会員更新手続きのお願い

先月号にも掲載しましたが、平成18年度も引続き皆様に会員登録を更新して頂きたくお願い申し上げます。4月末までに平成18年度会費を運営員に直接お渡し下さるか、先月号に同封された下記の郵便局口座にお振込み下さい。会費は、個人会員3,000円、家族会員1,500円です。口座番号：00550-7-74672 口座名称：うおぬま国際交流協会

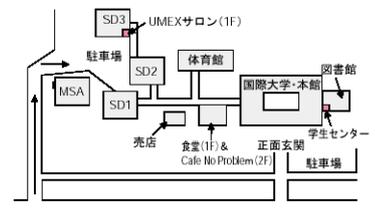
特技大募集

会員の皆様は、各々（お料理、着付け、裁縫、釣り、スキーなど）いろいろな特技をお持ちだと思います。夢っくすでは皆様の特技を生かしたイベントを企画したいと考えておりますので、お持ちの方は是非ご一報下さい。

UMEX うおぬま国際交流協会
UONUMA Association for
Multicultural EXchange



〒949-7277
新潟県南魚沼市国際町777番地
国際大学内 UMEX事務局国際交流サロン
TEL/FAX: 025-779-1520
E-Mail: office@umex.ne.jp
URL: <http://www.umex.ne.jp/>



From 事務局

- かわらばんへの掲載が間に合わない新着情報はホームページに掲載しますので、こちらでも時々確認して下さい。また、皆様の意見や感想をお待ち致しております。
- 夢っくすサロンに来られる際には必ず会員証を携行して頂けますようお願い致します。
- サロンをお使いになられた後は、空調設備やポットなどの機器は必ず消してから退出して下さい。

担当者連絡先

サロン 高橋:025-773-3123 イベント 久保田:090-5763-7903
多言語支援/外国語 柳瀬:025-792-0888 日本語 大平悦子:025-792-9840
研修 井口:090-5329-8234 事業 武田:090-3648-4862
広報 高津戸:090-3642-1041 事務局 025-779-1520

【編集後記】

ようやく雪も降り止み、少しずつ春に近づいて来たように感じられますが、皆さんは如何でしょうか？チラホラと雪が舞うこともあるかもしれませんが、春はもう直ぐです。昼サロンギャザリングなど少しずつイベントも再開して来ていますので、また皆さんとお会い出来ることを楽しみにしています。(toshi)